

悲しいことが二度と起こりませんように

先日悲しいことが起こりました。知的障がい者施設に入所していた方々が、そこで働いていた男性に何人の方が殺されるということが起こりました。殺した理由は、障がい者は周りの人を不幸にするからという、よくわからない考えから19人もの方々を殺すということをした事件は、私にはすごくショックでした。

なぜなら事件を調べるうちに、「返事をしなかったから。」という理由も挙げられていました。

私は自分に置き換えることしかできませんでした。なぜ障がい者というだけで殺されなければいけないのでしょうか。私は、定型発達の人と比べたらできない事が多いと思います。だから私の両親は小さい時から療育を受けさせたり、自宅で療育するなど、私のために時間費やしてくれました。私も頑張ったつもりでいました。それもこれもすべて、少しでも自分でできることを増やしていけるようにしようということで始めてきています。

私は小さい時から「人のものを盗んだり、人を傷つけたり、警察に行くようなことをしないように。」と言われてきました。

私は大学を卒業して数年人の力を借りて生活することは、いけない事のように思っていました。だから自分一人ではできないと世の中には出ていけないように思っていた時もありました。

その呪縛をとってくれたのが、今、移動支援と家事援助を受けている施設の方々でした。できない事は支援を受けていいんだということを時間をかけて私に教えてくださいました。そのおかげで私は、母以外の方とも外出などもできるようになり、一人でできることも多くなりました。

すべての支援者が今回事件を起こした人と同じでないこともわかっていますし、周りで見守っている人たちもそうでないこともわかっているつもりです。

でも、以前は感じえなかった恐怖？みたいなものが私の心に生まれたのは事実です。障がいを持っている。本当の気持ちを言えば、神様にお返ししたいです。でも、神様は受け取ってはくさいません。私は、障害と一生添い遂げなくてはいけないのです。

それを見ている親も苦しんでいると思います。

でも、私も両親も一生懸命生きています。そしてこれからも一生懸命生きていくことになると思います。

どうぞみなさん、障害を持っているものの後ろにはその両親がいることも忘れないでください。両親は私が生まれてからずっと、私の将来に不安をもちながら生きてきました。これからもそうだと思います。

施設で亡くなられた方のご両親もずっとそうした気持ちでこられたのではないのでしょうか。私たちは私たちなりに一生懸命に生きています。どうかこのような出来事が今後起こることのない世の中になるように心の底から思っています。

最後になりましたが、今回の事件で傷を負われた方々の一日も早いご回復と亡くなられた方々のご冥福を心から祈っております。